「人権の詩（こころのうた）」ってなあに？

「人権の詩」は、県内の小・中・高校生、一般の方から募集している詩のコンテストです。
普段の何気ない生活の中で見つけた「人権」を詩につづることで、人権について考える
きっかけとしていただくために、毎年行っています。
今回の作品展でも展示される、2021 年度の知事賞作品 3 点をご紹介します。
（学年は受賞当時のものです。）

【小学生の部　知事賞】

有田市立保田小学校１年
堀江（ほりえ）　花姫（かこ）さん

「ぎゅっ」

あさのぎゅっ。
ねるまえのぎゅっ。
こまったときのぎゅっ。
げんきがでるよ
えがおになるよ
そうだがっこうに
いったらともだちにも
してあげよう。
みんなで「ぎゅっ」。

【中学生の部　知事賞】

田辺市立上秋津中学校２年
瀧本（たきもと）　あいらさん

「ランドセル」

弟はもうすぐ小学生になる。
「ランドセルの色は赤がいい！」
弟はいつもこう言っている。
でもおばあちゃんやおじいちゃんは
「男の子は黒色か紺色じゃないと
　いじめられそう。赤なんて女の子の色だよ」
って弟に言っている。
弟のためだとは分かっているけど
私は赤でもいいんじゃないかと思う。
自分の好きな色と６年を共にできるなら
弟は、　きっと幸せだろうな。

【一般（高校生）の部　知事賞】

和歌山市
岡田（おかだ）　雅子（まさこ）さん

「おーい、息子よ！」

君、すごいね。
ヒョロヒョロで、からかわれたのが悔しくて
筋トレ始めたら、
今やムッキムキ障がい者。

君、かっこいいね。
付けるの恥ずかしいって隠してたヘルプマーク、
今やカバンのワンポイントにしてる
おしゃれ障がい者。

君、面白いね。
ロボットみたいに生真面目だったのが、
今やちょいちょい手抜きする、
ちゃっかり障がい者。

突拍子もない行動に驚きの連続だけど
クスッと笑わせてもくれる。
君は障がい者ならぬ、笑が良（しょうがい）い者かもね。
それでいいよ、その調子！

「人権の詩」は、今年度も７月から募集予定です。
当センターのホームページで最新情報をチェック！
（下記の QR コードをクリックしてください。）